



# 平成29年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年1月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社TOKYO BASE  
 コード番号 3415 URL <http://www.tokyobase.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO  
 四半期報告書提出予定日 平成29年1月11日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 谷 正人  
 (氏名) 中水 英紀

TEL 03-6712-6842

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年2月期第3四半期の業績(平成28年3月1日～平成28年11月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年2月期第3四半期	6,387	53.2	839	111.3	836	118.6	541	121.4
28年2月期第3四半期	4,170	—	397	—	382	—	244	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年2月期第3四半期	40.59	34.73
28年2月期第3四半期	19.40	16.38

- (注) 1. 当社は、平成27年2月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成28年2月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。  
 2. 当社株式は、平成27年9月2日に東京証券取引所マザーズ市場に上場しており、新規上場日から第3四半期累計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして、平成28年2月期第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。  
 3. 当社は、平成27年5月27日付で普通株式1株につき1,000株、平成28年3月1日付で普通株式1株につき3株、平成28年9月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
29年2月期第3四半期	4,059	—	2,366	—	58.2	175.46
28年2月期	2,792	—	1,815	—	65.0	136.35

(参考) 自己資本 29年2月期第3四半期 2,361百万円 28年2月期 1,815百万円

- (注) 当社は、平成28年3月1日付で普通株式1株につき3株、平成28年9月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年2月期	—	0.00	—	—	—
29年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年2月期の業績予想(平成28年3月1日～平成29年2月28日)

- (注) 当社は、平成28年3月1日付で株式1株につき3株、平成28年9月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当該株式分割後の発行済株式数(自己株式数を除く)により算定しております。

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,154	50.3	1,190	80.4	1,178	82.1	788	82.3	59.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(平成29年1月10日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年2月期3Q	13,458,600 株	28年2月期	13,314,600 株
② 期末自己株式数	29年2月期3Q	62 株	28年2月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年2月期3Q	13,333,513 株	28年2月期3Q	12,598,578 株

(注)当社は平成28年3月1日付で株式1株につき3株、平成28年9月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

(注)この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀によって各種政策が実行されましたが、回復の勢いは弱く、雇用情勢は堅調に推移したものの、個人消費については力強さを欠くものとなりました。

当社の属する衣料品小売業界におきましては、引き続き実店舗からEC店舗への流れが継続しているほか、後半は前年と比べ急速に気温が低下したことにより、冬物衣料の販売が堅調に進んだ企業も多く見られました。

このような状況のもとで、当社は、前事業年度より引き続き、商品力の強化、戦略的な店舗展開、人材の確保と育成、インターネット販売の強化等に取り組んでまいりました。

また、前事業年度より開始した業態「UNITED TOKYO」につきましても、当事業年度も引き続き、積極的に経営資源を投入しました。

出店は、STUDIOUS業態におきましては、「STUDIOUS 博多店」、「STUDIOUS 3rd 原宿店」、「STUDIOUS CITY 新宿店」、「STUDIOUS CITY 名古屋店」、「STUDIOUS CITY 大阪店」、「STUDIOUS USED 原宿店(現:STUDIOUS OUTLET)」の6店舗に加えて、海外向けEC店舗として、「STUDIOUS GLOBAL ONLINE STORE」、株式会社スタートトゥデイ運営のオンラインモール「ZOZOTOWN」内に「STUDIOUS CITY ZOZOTOWN」がオープンいたしました。なお、「STUDIOUS CITY」は、既存店舗に比べ、ハイエンドな顧客層をターゲットとしまして、当事業年度より開始した派生業態であります。また、「STUDIOUS USED 原宿店(現:STUDIOUS OUTLET)」は、リユース業界における成長市場の発見を目指して出店した派生業態でありましたが、本年10月にクローズし、来春に新たなテスト業態として「STUDIOUS LAB」を開店予定であります。一方、UNITED TOKYO業態におきましては、「UNITED TOKYO 福岡店」、「UNITED TOKYO WOMENS 池袋店」、「UNITED TOKYO MENS 池袋店」がオープンいたしました。

また、STUDIOUS業態におきまして、「STUDIOUS WOMENS 渋谷店」をクローズし、「STUDIOUS TOKYO 神南店」の1階部分に、「STUDIOUS TOKYO WOMENS 神南店」をオープンしました。これに伴い、「STUDIOUS TOKYO 神南店」は、2階部分に集約させ、「STUDIOUS TOKYO MENS 神南店」と改称いたしました。

なお、「STUDIOUS TOKYO 梅田店」におきましては、2014年春より営業開始以降、早期の軌道乗せに取り組んでまいりましたが、想定を大きく下回る収益性の低下に伴い「固定資産の減損に係る会計基準」に基づく減損測定を行った結果、同店に属する有形固定資産につきまして27,780千円の減損処理を行いました。

以上により、当第3四半期累計期間の売上高は、6,387,706千円(前年同期比53.2%増)、営業利益839,160千円(同111.3%増)、経常利益836,402千円(同118.6%増)、四半期純利益541,227千円(同121.4%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期会計期間末の資産合計は、4,059,964千円と前事業年度末に比べて1,267,787千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が323,668千円、売掛金が452,282千円、たな卸資産が319,371千円増加したためであります。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末の負債合計は、1,693,278千円と前事業年度末に比べて716,578千円の増加となりました。これは主に、買掛金が249,706千円、未払費用が181,901千円、長期借入金が200,000千円増加したためであります。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産合計は、2,366,685千円と前事業年度末に比べ551,209千円増加し、自己資本比率は58.2%となりました。これは主に、四半期純利益の計上に伴い、利益剰余金が541,227千円増加したためであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、平成28年4月13日付「平成28年2月期決算短信」で公表しました業績予想値を修正しております。詳細につきましては、本日(平成29年1月10日)公表いたしました、「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年2月29日)	当第3四半期会計期間 (平成28年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	958,376	1,282,045
売掛金	338,853	791,135
たな卸資産	681,266	1,000,638
その他	58,093	51,726
流動資産合計	2,036,590	3,125,545
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	372,313	481,819
その他(純額)	35,254	19,123
有形固定資産合計	407,568	500,943
無形固定資産	8,503	13,283
投資その他の資産		
差入保証金	324,537	383,268
その他	14,976	36,923
投資その他の資産合計	339,514	420,191
固定資産合計	755,586	934,418
資産合計	2,792,176	4,059,964
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	577,748	827,454
未払法人税等	131,711	149,817
未払費用	161,682	343,584
賞与引当金	55,649	55,808
ポイント引当金	16,492	32,510
その他	28,086	78,760
流動負債合計	971,372	1,487,936
固定負債		
長期借入金	-	200,000
その他	5,328	5,342
固定負債合計	5,328	205,342
負債合計	976,700	1,693,278
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	260,595	263,043
資本剰余金	244,595	247,043
利益剰余金	1,310,284	1,851,512
自己株式	-	△103
株主資本合計	1,815,476	2,361,495
新株予約権	-	5,190
純資産合計	1,815,476	2,366,685
負債純資産合計	2,792,176	4,059,964

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)
売上高	4,170,016	6,387,706
売上原価	2,027,214	2,949,504
売上総利益	2,142,802	3,438,201
販売費及び一般管理費	1,745,663	2,599,040
営業利益	397,138	839,160
営業外収益		
受取利息	68	9
受取配当金	40	40
受取補償金	50	1,156
その他	577	912
営業外収益合計	735	2,118
営業外費用		
支払利息	781	518
上場関連費用	14,438	4,320
その他	26	37
営業外費用合計	15,246	4,876
経常利益	382,627	836,402
特別損失		
減損損失	-	27,780
特別損失合計	-	27,780
税引前四半期純利益	382,627	808,622
法人税等	138,183	267,394
四半期純利益	244,444	541,227

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

I 前第3四半期累計期間(自 平成27年3月1日 至 平成27年11月30日)

当社は、衣料品販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期累計期間(自 平成28年3月1日 至 平成28年11月30日)

当社は、衣料品販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。